



2025 年 3 月 31 日

株式会社ムゲンエスレート向け 「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2025 年 3 月 31 日（月）、株式会社ムゲンエスレート（代表取締役社長 藤田 進一）に対して、「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

■ポジティブインパクトファイナンスについて

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDG s の達成を目指す融資手法です。

融資検討時に実施する評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまのK P I（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※1}を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP F I）^{※2}の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

■株式会社ムゲンエスレートについて

株式会社ムゲンエスレートは、不動産買取再販事業を中心に、不動産賃貸事業や不動産開発事業、不動産特定共同事業などを展開する 1990 年設立の不動産業者です。不動産の買取から企画、開発、施工、管理、リーシング、販売までを一気通貫で対応できる総合力や、創業以来培ってきた不動産ビジネスに関する豊富なノウハウを強みに着実に業績を拡大しています。

本ローンで設定するK P Iは、「プラチナくるみん」認定の取得、中古不動産の流通促進および販売強化、環境に配慮した設備等による不動産のリフォーム等であり、これらの社会面と環境面の取り組みを通じて企業価値向上を図ることを目指しています。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見

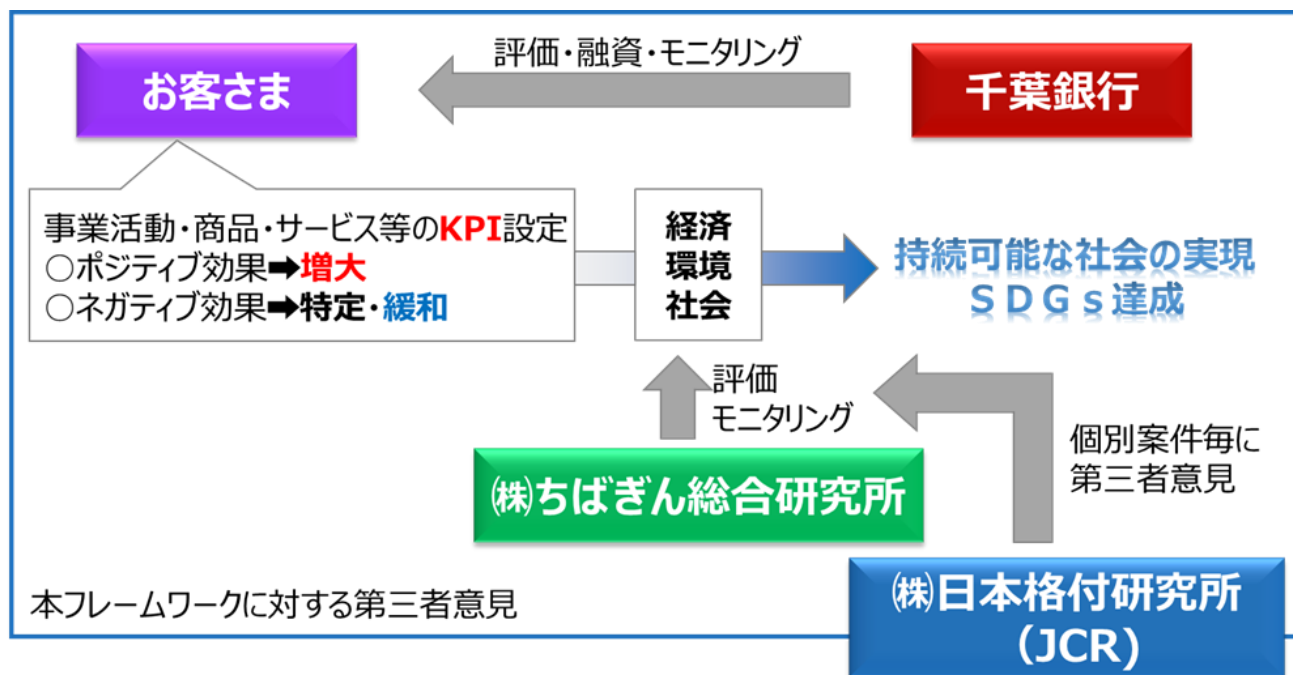
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 (<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指してまいります。

以 上

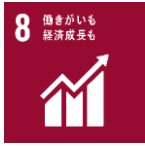
<スキーム図>



【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融 資 対 象 者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人
資 金 使 途	運転資金または設備資金（特定の資金使途に限定しません）
融 資 金 額	100 百万円以上
融 資 利 率	当行所定利率
融 資 期 間	原則、3 年以上
K P I (目 標)	SDGs 達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてK P I を設定していただきます。 (1) 1 つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2) 潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

【株式会社ムゲンエスレート向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸 出 先	株式会社ムゲンエスレート		
契 約 締 結 日	2025 年 3 月 31 日 (月)		
融 資 形 態	証書貸付		
融 資 金 額 (使 途)	500 百万円 (運転資金)		
融 資 期 間	5 年		
評 価 内 容	領 域 (テーマ)	取組内容およびK P I (目標)	関連するSDG s
	社 会 (健康および安全性、生計、平等と正義、資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質、)	・ 2029 年度までに、全従業員の月間残業平均時間を 16 時間以下を実現する (2024 年度実績 : 19 時間) ・ 2029 年度までに、管理職の有給取得率 80%以上を達成する (2024 年度実績 : 79.1%) ・ 2025 年度までに「プラチナくるみん」認定を取得する ・ 2029 年度までに、男性従業員の育児休業取得率 50%以上を達成する (2024 年度実績 : 44.4%) ・ 2029 年度までに、女性の雇用を積極的に進め、グループ人員数の内の女性比率 35.0%を達成する (2024 年度実績 : 33.5%) ・ 2029 年度までに、女性管理職比率 8%以上を達成する (2024 年度実績 : 2.2%)	   
	環 境 (サーキュラリティ)	・ 2027 年度までに、不動産売買事業の売上高 100,925 百万円を達成する (2024 年度実績 : 59,758 百万円) ・ 2029 年度までに、節水、節電に配慮した設備を活用したリフォーム件数 540 件を達成する (2024 年度実績 : 456 件)	 
そ の 他	上記 K P I については千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年 1 回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。		